

2009 高等学校中国語・韓国語教師研修 単元案づくり		作成者:C	
単元名	天国への階段	コマ数	4
話題分野	食	クラスサイズ	20
レベル	レベル1		
<b>学習目標</b>			
言語領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューを読んで理解することができる。</li> <li>・店員を呼ぶことができる。</li> <li>・辛いかどうか、おいしいかどうか、確認することができる。</li> <li>・食べたい料理と数を注文することができる。</li> <li>・値段を聞いて、支払うことができる。</li> </ul>		
文化領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国の代表的な料理と味</li> <li>・韓国のお金の種類</li> </ul>		
その他			
<b>学習内容</b>			
表現例	<p style="text-align: center;">? / /</p> <p style="text-align: center;">가 ? ? --- ?</p>		
語彙	味覚・感覚に関する語彙 ( / / / / 가 / ) 金額 ( 100 ~ 10000 )		

## 学習活動

### 語彙の習得活動

#### (1)ステップ1 (提示)

- ・ 韓国の代表的な料理10品(チヂミ、冷麺、サムゲタン、ビビンバ、キムチチゲ、トッポッキ、キムパブ、チーズラミョン、カルゲクス、マンドゥ)の写真を提示しながら、発音して聞かせる。写真は黒板に張る。(料理について簡単な説明をしながら)
- ・ 料理名をハングルで書いた文字カードを1つ1つ発音しながら、写真の下に黒板に張る。

#### (2)ステップ2 (インプット活動)

- ・ 黒板に写真・文字カードが貼ってある状態で、番号を振っておく。教師が料理名を発音し、生徒が番号を言う。文字カードを1つ1つ取っていく。
- ・ すべて文字カードが取られる。グループに料理名が書かれた文字カードセットを配布し、教師が発音したら、その文字カードを選び、上に上げて見せる。
- ・ 教師が発音した料理名の文字カードを選び、指定されたグループの代表が黒板の写真の下に貼る。

#### (3)ステップ3 (ことば遊び:インプット/アウトプット活動)

- ・ 10個の料理を「温かい料理/冷たい料理」「辛いもの/辛くないもの」「高いもの/安いもの」「カロリーが高いもの/カロリーが低いもの」に分類させる。4つのグループに1つずつお題を与え(例)Aグループは、10個の料理をカロリーが高いものと低いものに分ける。)グループ内で話し合わせて、発表させる。グループに分けるときには、すでに配布してある文字カードを用いる。

#### (4)ステップ4 (アウトプット活動)

- ・ 発表のときには、各グループが前に出て、写真カードを用いながら分類した結果を述べ、ほかのグループの意見を聞く。「高いものと安いもの」「カロリーが高いものと低いもの」に関しては、教師が実際のお店の価格や調べておいたカロリーの結果をあとで参考情報として伝える。

#### (5)ステップ5 (表現とつなげる活動:提示)

- ・ 「ここは韓国の食堂です」と言って、食堂にいるイメージを持たせ、食堂の店員がいう表現?を聞かせて意味をいう。食べたい料理を注文するときには、「、」ということを提示する。「ください」の意味であることを理解させる。(音のみで提示)「、」のように教師が発音して提示する。

#### (5)ステップ6 (表現とつなげる活動)

- ・ 写真カードをフラッシュカードのように用いて提示しながら、生徒に「、」のように言わせる。
- ・ 生徒に注文したい料理を一つ考えさせ、教師が「、?と生徒に聞き、聞かれた生徒は自分が食べたい料理を注文する。

(6)ステップ6 (拡張活動)\*時間があったらチャレンジ

表現/文法の習得活動

(1) ステップ1 (提示)

- ・料理の写真カード(トッポッキとサムゲタンと冷麺)を貼って、ジェスチャーや数字などを示しながらの表現を提示する。

(2)ステップ2 (インプット活動)

- ・形容詞の意味と音を結びつけるために、教師が音で「 」など聞かせて、生徒にジェスチャーで示させる。
- ・グループに10種の料理の写真カードを配布し、教師が「 」 「 」 といいつて、写真カードを選ばせ、あげさせる。

(2) ステップ3

(アウトプット活動1:コンテキストの中でのメカニカル・アクティビティ)

- ・あまのじゃく反応ドリル

教師が言ったことに対して、とにかく反対のことを言わせる。例) といったら、生徒は などいわせる。残りの形容詞の単語を入れてドリルを行う。

(アウトプット活動2:ミーニングフルアクティビティ)

- ・料理の写真カードを用いながら、教師 生徒、生徒 生徒間において、A: ? B: .など本当の自分の気持ちをを入れて、質問 応答をする。

(アウトプット活動3:コミュニケーションアクティビティ)

- ・ペア練習 相手の好きな料理について、A: ? ? ? などを聞き答えを聞いて、何の料理かを当てる。

(アウトプット活動2:シチュエーションアクティビティ)

食堂場面のロールプレイ ペア練習 モデル会話を示して、 に料理名を入れて練習させる。

客: ---, ?

店員:

客:

店員:

時間があれば全員の前で発表させ、周りの人は何を注文したかを聞き取る。

学習活動 つづき

評価	目標が達成できたかどうか測定する方法、評価の基準をあらかじめ作っておく。

## 主題(話題分野)中心の単元案アイデア

韓国と日本の食べ物の食べ方(食事マナーを含む)について調べ、比較してみましょう。

### 導入

あなたが混ぜて食べる食べ物はどんなものですか。ペアで話してみましょう。友達との共通点や相違点はありましたか。それについてどう思いましたか。  
このプリンをどうやって食べますか。(グループに1つプリンと、スプーン人数分用意しておく) やってみましょう。  
1つのプリンを食べるにあたって、どのような気持ちを抱きましたか。(ブレインストーミング&KJ法を用いて出た意見を整理する)

### 展開

韓国のドラマの食事シーンを見せて、気づいたことをピックアップしてみましょう。  
誰が、どんなものを、誰と、どんなふう、食べているか、に注意して見ましょう。(1つの鍋を複数の人が一緒に食べている場面や、混ぜて食べているシーンなど、生徒が違和感をもちそうな場面を含むドラマをあらかじめ準備しておく。ブレインストーミング&KJ法を用いて気づいたポイントを整理する)

### 発展

韓国の高校生や日本の高校生も同じような行動をとるのかについて聞いてみましょう。  
日本の高校生に対してはインタビュー、韓国の生徒に対してはアンケート調査を行ってみましょう。

項目: 混ぜて食べますか。  
カレーライス・スパゲッティ・カキ氷・オムライス・納豆ご飯  
汁物とご飯があったとき、どうやって食べますか。  
汁物とご飯を最後まで別々に食べる・汁物にご飯を入れて食べる・ご飯に汁物をかけて食べる  
スプーン(れんげ)を使って食べますか。  
茶碗に盛ったご飯・みそ汁・オムライス・さしみ丼・うどんの汁  
1つの料理を食べるとき、直箸で食べることができますか。  
家族(誰?)・親しい友人・クラスメート  
直箸を注意されたことがありますか。(日本人向け)  
ある・ない ある場合は誰に?  
箸でご飯を食べて注意されたことがありますか。(韓国人向け)  
ある・ない ある場合は誰に?  
食器(茶碗など)を持たずに食べて注意されたことがありますか。(日本人向け)  
ある・ない  
食器を持って食べて注意されたことがありますか。(韓国人向け)  
ある・ない

### まとめ

グループごとに、日本人と韓国人の結果を分析して、結果をまとめましょう。さらに、どうしてそのような結果になったのか、考察して発表しましょう。+ ほかのグループの発表を聞いて、考えたことについてレポートにまとめてみましょう。  
「混ぜる」という言葉の意味を日本語と韓国語で比較してみましょう。(意味範囲やイメージについてわかったや考えたことを発表)